

夏の到来を感じさせる陽気が続き、学校の桜は新緑の綺麗な葉っぱを広げています。

毎日、立哨当番や登校班について歩いてくださる方、地域での見守りなど、たくさんの方々に安全面にご配慮いただいていることに感謝申し上げます。ゴールデンウィーク期間中、外出される場合には、マスクや手洗い消毒、人ごみは避けるなど、コロナ感染防止には十分お気を付けてください。

さて、26日に Meet による放送朝会で2つのことを児童と確認しました。

1つ目は「はたらく」ことについて。

五軒健児の約束には、「周りの人の喜びを自分の喜びとすることのできる五軒健児」とあります。みんなのために働くこと、友達や先生、家族や地域の人が喜ぶことを進んで行うようにしようということです。

働くという言葉、「はた」と「らく」に分けてみましょう。「はた(端)」というのは、「自分の周りの人」。「らく(楽)」というのは、楽にすること、助けてあげるということ。つまり、はたらくというのは、自分の周りの人を楽にしてあげること。係活動や委員会活動、当番活動やそうじも、周りの人のために働くこと。お父さんやお母さん、近所の人が仕事に行くのも、社会のために、周りの人を助けることにつながっています。みなさんは、家族のために進んでお手伝いをしましょう。そして、学校ではクラスや学校のみんなのために進んで働きましょう。

2つ目は「五軒小 Twitter (ついったー)」について。

スマホは使いません。使うのは鉛筆と応募用紙で、紙に書いて、ポストに入れます。書く内容は、①校長先生の質問に答える。②クラスや学校の様子をつぶやく。(悪口は×) ③詩や俳句を書く。(コンクール応募もある) ④お家の人や地域の人へ感謝の気持ちなどを書く。⑤困っていることがあったら書く。など。

参加は自由で、全員参加を目標にしています。2週間でテーマが変わり、作品は、学校だよりやHPなどで紹介したり、コンクールに応募したりします。ポストは校長室横に設置し、中身は先生方が確認します。

4月28日 水戸市立五軒小学校校長 大谷 栄子